

米価暴落

米・水田・地域経済まもる 緊急対策を

日本共産党

「米つくって飯くえねえ！」



再生産不能の異常米価

収穫の秋、米価暴落が全国の農家を襲っています。概算金で60キロ当たり前年より3000円前後の下落、史上最低の8000円〜7000円台の銘柄が続出です。全国平均の米生産費1万6000円の半分以下という異常事態です。

加えて、昨年まで米農家に10キロあたり1万5000円出されていた直接支払交付金が安倍政権によつて今年産から半額にバツサリ。米農家にとって踏ん張り蹴ったりです。

「米つくって飯くえねえ！」という叫びが広がるのは当然です。

米価の市場まかせは許されません

このままでは大規模経営を含めて米作りができなくなり、農村が崩壊するのは必至です。地方の議会から政府に対策を求める声が続々とあがっています。

国民の主食である米の需給と価格の安定に政府は責任を持つべきです。米の過剰在庫を放置し、米価は市場で決まるものと言い放ち、なんの対策も取らないのはもはや許されません。07年産米の大暴落の際に政府は備蓄米34万トンの追加買い入れを行っています。安倍政権は地方の切実な声にこたえるべきです。

政府の責任で過剰米の市場隔離を

日本共産党国会議員団が申し入れ

日本共産党国会議員団は9月24日、今年産の米価が暴落している問題で、西川公也農水大臣に、次の緊急対策を申し入れました。

- 一、政府として、過剰米の市場隔離をはじめ、コメにたいする需給調整に直ちに乗り出すこと
- 一、今年度の米直接支払交付金の半減措置を撤回し、農家の経営安定対策を取ることに

生産者、自治体、関係者の力を合わせ 政府に緊急対策をとらせよう



2014年10月号外
発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111(大代表)
ホームページ <http://www.jcp.or.jp> メール info@jcp.or.jp